

議会基本条例の 検証が進んでいます

上越市議会のあり方や目指すべき方向など、基本理念を示す「議会基本条例」の検証が進んでいます。各条文ごとに、議会や議員がその記載の通りに活動しているかなどを検証しています。

党議員団としても、各条文について、これまでの議会の取組を検証しています。このうち、第2条「議会の活動原則」では、「議員間の自由闊達な議論により、市政の課題に関する論点及び争点を明らかにすること。」などの項目がありますが、これに対しては、「各議員の主張、発言内容は多様であり、多岐の方面にわたるのが通常であるが、その発言を十分にできるだけの審議時間が保障されていない実態がある。大いに議論し、相違点や一致点を見いだすべきであるが、一致を見た見解については政策提起ないしは提言などをすべきである」「それぞれの議員はそれまでの緻密な調査や市民の意見聴取に基づいたかなりの発言量を準備しているのであり、その発言を保障することがまず必要である。そのために、まず十分な審議時間を確保することが大前提である。」といった見解を表明しています。今後も議論を深めていきます。

上越保健所管内感染症発生状況

(1月22日現在)

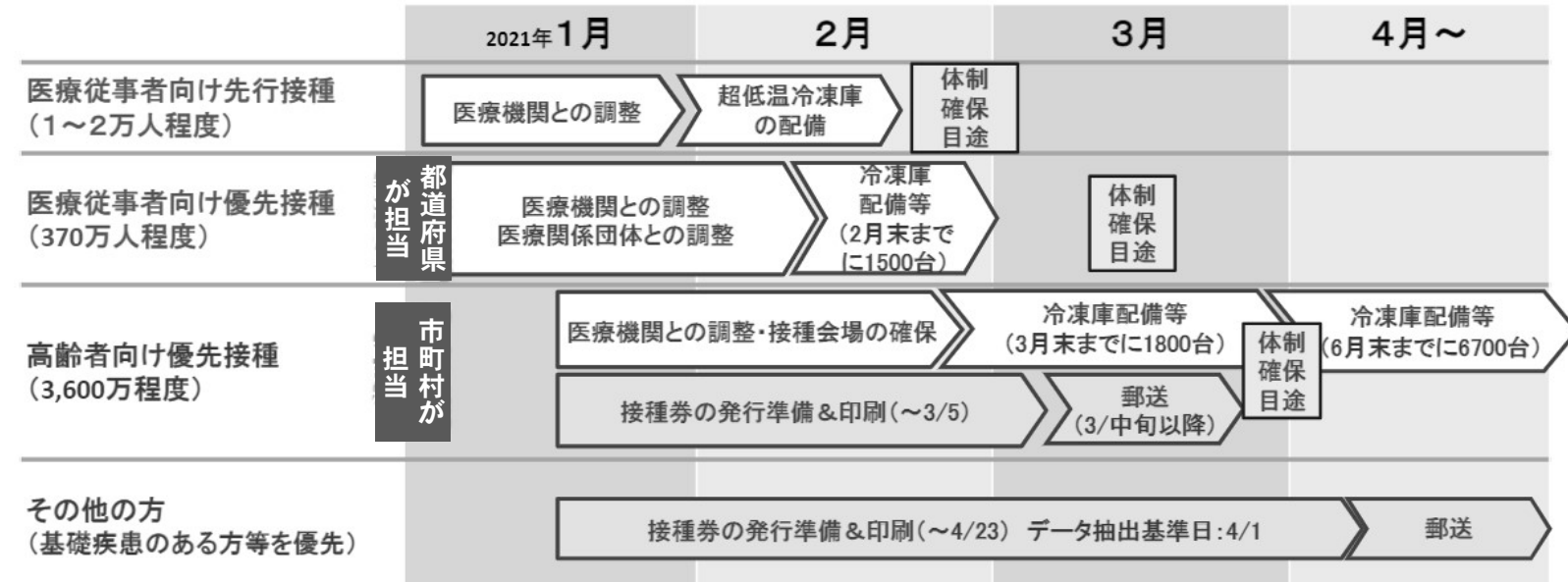
PCR検査実施件数 4691件(前週+296)
 感染症患者数 43人(上越市内39人)
 陽性率 0.92%

日本共産党上越市議員団ニュース

No.693 2021年2月7日

連 橋爪 法一 090-5392-1961(吉川区代石)
 絡 上野 公悦 090-7260-9407(頸城区中柳町)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919(上中田(金谷区))

新型コロナウイルスワクチン接種の準備を開始 上越市



農業被害は 市内いたるところで

今冬の豪雪は、農業施設に大きな被害をもたらしています。

日本共産党議員団は、先週紹介した調査に引き続き、各地の実態調査を行っており、2日は橋本正幸前市議会議員も参加して三和区を調査しました。

どの地域でも、園芸用や資材置き場などのビニールハウスの被害が大きく、深刻です。

市は、日本政策金融公庫の農林漁業セーフティネット資金や農林漁業施設資金(災害復旧)を利用する場合の利子補給を行うほか、JAでも農林漁業者災害復旧支援融資やその利子補給を行うとしています。しかし、融資ではない給付を含めて抜本的な支援が必要です。



三和区神田のAさん経営のハウス被害
(写真手前は橋本前市議)



壊れた部分のパイプを切ったハウス。堆肥置き場として利用していた。

新型コロナウイルスワクチンの接種の準備が全国的に進められています。上越市でも、1月20日付で健康づくり推進課内に「新型コロナウイルスワクチン接種事務室」を設置す

るなど、具体的な準備が開始されました。現在、市内の接種対象者は、約18万9500人です。このうち、市としての第一優先接種対象者は約6万2千人の高齢者です。(医療従事者等は県が担当)

そして、来年の前半までに、市民に各2回接種する必要があるとされています。ワクチン接種については、感染防止への期待とともに、効果への疑問や思いがけない副反応などの心配があり、市民の間にも不安が広がっています。その要因となっているのは、このワクチン接種に関する詳しい情報が十分に市民に提供されていないことです。

厚生労働省が示した上のスケジュールによると、3月下旬に高齢者、4月以降に高齢者以外の基礎疾患等のある人へと順に対象を広げ、一般接種(当面の対象は16歳以上)は5月開始と想定されています。

市民の不安解消と正しい判断のために、一刻も早い正確な情報提供が求められています。